

## 市民会館開館記念事業

- **アンドレ・シプコー ピアノリサイタル**  
新しいピアノのお披露目に観音寺ゆかりのロシア人ピアニスト、アンドレ・シプコーの演奏をお聴きください。  
**日時** 4月1日(土) 午後6時30分開演  
**料金** 大人3,000円 高校生以下1,000円(自由席)
- **宮川彬良指揮**  
オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ 人気指揮者、宮川彬良率いる吹奏楽団オオサカシオンの楽しいステージ！  
**日時** 4月2日(日) 午後2時開演  
**料金** 大人4,500円 高校生以下1,500円(自由席)
- **第一回観音寺青柳寄席 東西名人二人会**  
桂文枝・春風亭小朝 東西落語の名人二人が観音寺にそろう踏み！  
**日時** 4月23日(日) 午後2時開演  
**料金** 4,000円(指定席)
- **問い合わせ先**  
観音寺市民会館(チケット専用窓口)  
☎ 23-7600

## 四国デスティネーション キャンペーン(DC)開幕

4月1日～6月30日の期間中、JRグループの協力で、全国から四国へ観光PR、送客を行う四国デスティネーションキャンペーン(DC)を開催します。  
期間中、魅力ある観光素材を求めて、多くの人が四国、また観音寺市を訪れます。  
**問い合わせ先** 商工観光課 ☎ 23-3933

## 春季銭形砂ざらえ

市のシンボル「寛永通寶」の中に入り、砂ざらえを体験しませんか。スコップなどの道具は貸し出します。

同時に浴日館休憩所で抹茶のお接待をします。

**日時** 4月29日(祝・土)  
午前8時30分受付開始

**問い合わせ先**  
商工観光課 ☎ 23-3933



## 花稲海岸！地引網体験！

昔ながらの伝統漁法である地引網が体験できます。たくさん捕れた場合、魚は持ち帰りできます。

**日時** 5月7日(日)  
午後3時～  
午後4時半ごろ(午後2時受付開始)  
※荒天の場合は中止

**場所** 花稲海岸 **料金** 無料  
**人数** 100人(定員になり次第受け付け終了)  
**申込期間** 4月12日(水)午前10時から電話またはファックスでお申し込みください。

**主催** 花稲地区地曳網実行委員会  
**注意** 事前申し込みが必要。団体申し込みは不可。小・中・高校生は保護者同伴

**申し込み・問い合わせ先**  
観音寺市地域振興イベント推進協議会事務局(商工観光課内)  
☎ 23-3933 FAX 23-3956



## 高屋神社大祭

この地域では、春にちょうさ祭りが開催され、絢爛豪華なちょうさが桜の咲く参道を練り歩きます。

**日時** 4月9日(日)  
午前10時40分  
太鼓台稲積山登山開始  
午前11時20分、午後1時40分、午後3時40分  
太鼓台かきくらべ

**場所** 高屋神社  
**問い合わせ先** 商工観光課 ☎ 23-3933



## かんおんじまち歩き 参加者募集

観音寺の秘境有木を歩く～800年の歴史を探る～  
**日時** 4月8日(土) 午前9時30分五郷ダム集合  
午前10時出発

**内容** 平家の落人の里といわれている有木地区には、その当時持ってきたといわれる陣太鼓や県指定の文化財阿弥陀如来が伝えられている。それらを見学し、史跡を巡る(約4キロメートル、3時間のコース)

**料金** 1,500円(昼食代含む)  
定員20人(定員になり次第締め切り)

**申し込み・問い合わせ先**  
観音寺市観光協会 ☎ 24-2150



▲ジャズダンス

- 開講期間** 5月6日(土)～7月28日(金)
- 対象** 市内在住の社会人または市内に勤務する人  
(全講座とも初心者優先します。申し込み状況によっては、市外の人を受け付けます)
- 受講料** 1講座2,500円  
(申し込み後の返却は不可)

平成29年度(第12回)

## 市民講座 開講案内

観音寺市中央公民館 ☎ 23-3944

**受付期間** 4月5日(水)～7日(金)午前9時～午後7時  
4月11日(火)～20日(木)午前9時～午後5時  
(土・日、月曜日は除く)

受付期間中でも、定員になり次第締め切ります。  
**受付場所** 観音寺市中央公民館(電話での申し込みは不可)

- 注意** 申し込みが10人未満の講座は開講できません。
- 講座の場所は観音寺市中央公民館、働く婦人の家、共同福祉施設です。
- パンフレットは、観音寺市中央公民館、大野原・豊浜各地区公民館、市役所ロビー、中央図書館にあります。
- 市民講座以外にも、俳句や短歌、手描き友禅などの自主グループが活動しています。
- 詳細は、観音寺市中央公民館にお問い合わせください。

### 平成29年度(第12回) 観音寺市民講座開講案内

講座名	時間	講師	内容・おすすめ	テキスト代・材料費等	
				初心者	経験者
<b>火曜日 (5月9日～7月25日)</b>					
ゆったりストレッチ	10:00～11:00	伊藤 みか	年齢を重ねると体はだんだん固くなっていきます。ゆったりとしたストレッチで体を緩めていきませんか。	なし	
絵手紙入門	14:00～16:00	藤原 英子	絵に自信のない人、仲間が欲しい人向けの入門講座です。道具も貸し出し(有料)します。	道具貸し出しあり(有料)	
油絵	19:00～21:00	福田 透	すぐに結果の出る事が求められる今、じっくり腰を据えて描く油絵を楽しみませんか。	3,000円	500円
ジャズダンス	19:30～21:00	生駒 幸子	音楽に合わせて体を動かすことは脳トレにもなります。参加してみませんか。	なし	
トールペインティング	19:00～21:00	高橋かをり	絵心がなくても大丈夫。素敵な作品を作りましょう。	4,000円	材料費実費
<b>水曜日 (5月10日～7月26日)</b>					
押し花	13:30～15:30	佐川 智子	四季の草花を押し花にして、花の美しい色や形をそのままに作品を作ります。	実費	
陶芸(楽焼)教室	19:00～21:30	石川 久夫	童心に帰って粘土遊びに挑戦し、世界に一つの作品を作りませんか。	2,500円	実費
かな書道	19:00～21:00	真鍋 慶舟	初心者でも和歌や俳句をすくかな文字で書くことができます。	500円	実費
<b>木曜日 (5月11日～7月27日)</b>					
パッチワーク教室	9:30～11:30	今城由美子	いろいろな布を使って楽しくパッチワークをしましょう!	実費	
篆刻(てんこく)	第2、4木曜日 13:00～15:00	黒田 九華	方寸(約3センチ四方)の世界を楽しむ。自刻の印を日常の中に!	約10,000円(道具代)	実費
楽しいハワイアンフラ	13:30～15:00	磯崎 智子	軽やかな音楽に合わせて体を動かし、フラの心地よさを感じてみましょう。	1,000円	
着物着付	19:00～21:00	小笠原敏代	着物は世界に誇れるすばらしい民族衣装です。日本の伝統文化を後世に。	なし	
<b>金曜日 (5月12日～7月28日)</b>					
いきいきコーラス教室	10:00～12:00	宝田 章江	健康法の一つとして歌うことに必要な体づくりを取り入れ、楽しみながら歌いませんか。	実費	
ちぎり絵	13:30～16:00	鱈目 慶子	日本古来の和紙のぬくもりを一枚の絵に。体験してみませんか。	1,200円	
マジック教室	19:30～21:00	三野 優	「うわ!えっ!なんで?すごい!」マジックを習いませんか!あなたも3カ月で、立派なマジシャン!	3,500円	実費
ピアノ教室	19:00～21:00	山本 悠祐	初心者歓迎!好きな曲を練習してみませんか!	実費	
<b>土曜日 (5月6日～7月22日)</b>					
初心者書道教室	9:30～11:30	石川 義象	初めての人を中心に、毛筆漢字の基礎から学べる講座です。	2,300円	
民謡	13:30～15:30	阿部 桑佑	地元と全国の民謡を生伴奏でうたいましょう。昔の生活から生まれた楽しい唄です。	なし	
やさしい革教室	14:00～16:00	石井 紀子	あなただけの一品を作ってみませんか。かわいい、きれいな一品をプレゼントに!	2,400円 革代等実費	革代等実費
中国伝統呉式太極拳	19:30～21:00	近井 昭博	中国伝統呉式太極拳であなただけの美と健康を手に入れましょう。	400円	なし

作文コンクール（警察庁他主催）

### 全国最優秀賞「内閣総理大臣賞」受賞

観音寺小学校5年 山本 更紗さん

### 私の目線で気づいたこと



平成28年度の作文コンクールで、観音寺小学校5年山本更紗さん（受賞時4年）が、全国最優秀賞「内閣総理大臣賞」を受賞しました。4年生になり、自転車に乗り始めた山本さんが、歩いているときには感じなかった危険に遭遇し、そこから自身が気づいた考えや思いをつづっています。

応募総数1、646点の中から、最優秀賞に選ばれた山本さんの作文（全文）を紹介します。

私の小学校では四年生になると自転車検定があります。自転車は左側を一直列で通ることや手信号のやり方、踏切のわたり方などを学びます。そして、運動場で自転車で安全に乗る練習をして、自転車の点検も終わる

と自転車に乗ることが許可されます。私も自転車検定に合格したので、今年の夏はラジオ体操や学校の水泳練習などに友達やお母さんと自転車で行きました。自転車は楽しいし歩くより早く着くのでとても便利でし

た。でも、歩いているときには感じなかった危険がたくさんありました。一つ目は、夏休みの水泳練習に友達と自転車で登校していたときのことです。普段歩いて登校しているときと同じように話をしながら二列で歩道を行っていたと、前から歩行者が来て、あわてて一列になりました。自転車は幅があるので二列になると歩道を全部使ってしまうし、一列になろうとしてもすぐにはできません。このときは歩行者に早く気付いたので、めいわくをかわけずにすんだけれど、気付くのが遅かったら歩行者にめいわくをかけたかも知れないし、ひどければけがをさせたかも知れません。自転車教室で言われた一列で走ることの大切さがよく分かりました。

二つ目は、歩道のないせまい道路でのことです。私が自転車で行くと後ろから車の音がしたので、左によって止まりました。すると、車の人はゆっくりとスピードを落として通ってくれました。お互いがゆずり合うことができたので、安心して通れました。歩行者だけでなく車にも気を配りゆずり合いの心を持っていたら、車の人も通りやすくなり事故が少なくなると思いました。

小学生の交通事故のうち約七割は自転車での事故だそうです。自転車はそれだけ危険な乗り物だということを私たちがわかっていなければいけません。交通事故をへらすために私が考えたことは二つあります。一つは自分がルールをきちんと守ることです。もう一つは相手に気を配りゆずり合うことです。当たり前のことですが、これができるだけで必ず事故はなくなるはずですが、事故をおこせば自分も相手も悲しくなり悪いことばかりです。だれもつらい思いをすることがないように交通事故がゼロの街にしていきたいです。

（原文どおり）



## 正しい認識で明るい社会を

心がつながる社会をめざして  
多様性を認め合う社会に

私たちは普段の生活の中で、自分の物差しで物事を判断し、相手の心を傷つけたり、人権を侵害したりしていることに気付かない場合があります。

昨年12月、新聞に掲載されていた中学生の人権作文に、筆者がそれまでに経験したことのないような暴力と身体への暴力以外の暴力を感じたという文がありました。それは、顔が腫れて入院している母を見舞った際に、一緒にパンを買うために入った店で「ヤベー見ろよあれキモッ」あの顔すくなくない？」などという、周り

の人からのやりのような視線とひそひそ声に耐え切れず、母の手を取って店を出たというつらく悔しい体験です。

他にも、つくられた固定観念や先入観による人権侵害の一つとして、私たちが当たり前のように使っていた「はだいろ」というクレヨンや絵の具などの色について、考えさせられたことがあります。世界にはさまざまな肌の色をした人がいるのに「はだいろ」として一色に決めてしまうのは、差別につながるのではとの指摘を受け、現在文具メー

カーでは「うすだいいい」や「ペールオレンジ」という色名に変えているそうです。

どちらも、異質なものを受け入れようとしなない心の狭さや醜さ、思い込みなどによる偏見に起因した人権侵害の典型的な例であるといえます。今一度、私たちの周りに自分の言葉や行動で嫌な思いをしている人はいないか、振り返ってみましょう。そして、自分の偏見に気付いたら、少しずつでも意識を変えていくことが、多様性を認め合う社会への一歩につながります。



### 男女共同参画

#### セカンドライフを充実したものに！

企画課男女共同参画推進室 023-3917

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、老年人口（65歳以上）は増加の一途をたどり、7年後の平成36年には総人口の3割を超え、70歳〜74歳世帯に占める「夫婦のみ」の世帯は4割近くになると推測されています。これは、定年退職した後、多くの人が「夫婦だけの生活」を過ごすことを意味しています。

老年人口の増加は、日本の経済成長を支えてきた「団塊の世代」が65歳以上となっているためです。この世代の男性は、長時間労働は当たり前、家庭や地域活動は妻に任せっきりというケースが少なくなく「男性は仕事」「女性は家事や育児」といった固定的な性別役割分担意識が現在よりも強かった世代です。

夫婦でのセカンドライフをより充実したものにするためには、新たなパートナー

ーシッパが必要です。夫婦はかけがえのない存在であり「夫婦ふたり」という小さな世界でもあります。「夫だから」「妻だから」という考えに縛られる前に、個々の生活を尊重し合うことが大切です。夫婦でこれまで固定していた役割を見直すことで、それぞれの趣味を楽しんだり、これまでの経験や知恵を地域活動に生かしたりと、活動の場が広がるはずですが、また、家事などを分担することで、新たな時間も生まれるかもしれません。

仕事には定年があっても、家庭生活に定年はありません。お互いが充実した時間を過ごすことで「ふたり」という小さな世界は何倍にも広がりをもちます。「男女共同参画」を生活に取り入れ、より充実したセカンドライフを過ごしましょう。



おめでとう  
ございます  
平成28年度  
人権作品優秀賞



常磐小学校6年(平成28年度) 大西 泉弥さん



観音寺中学校3年(平成28年度) 筒井 美帆さん